

台湾巡検の旅

原 田 米 一 (長崎市平和町)

台湾の地質巡検会は平成8年12月25日から30日までの短い旅でしたが、知識だけでなく情感の上でも大変素晴らしい収穫をもたらしてくれました。この巡検会を企画し、資料を蒐集し、実行案を練り、各関係方面と交渉された御苦労は並々ならぬものがあったと思います。その衝に当たられた諸先生方、特に実行委員の鎌田先生、石川先生、小田先生に敬意を捧げると同時に、心から幾重にも厚くお礼を申し上げます。

台湾では、故宮博物館、日月潭、九族文化村、木生昆虫館、太魯閣峡谷、野柳岬、大屯山など心を揺さぶるものが余りにも多く、感激の連続でした。

或るホテルのエレベーターで不審に思ったのは三階の上は五階になっていて、四階がないんです。物知りのガイドさんに聴いたら、四も死も共にスーと発音するから嫌われるそうです。四は死に通じるから、病室に四号室がないのは日本だけかと思っていたら、こちら様が先輩だったのかと解ってハハーンと頭を縦にふりました。

バスで街を走っていると、色々の看板の文章が面白くてメモをとるのに大忙しです。“自転車”または“脚踏車”は自転車のことで、“機車”はオートバイ、“汽車”は自動車のことだそうです。“汽車快速保養”などの看板を見ると楽しくなるし、“汽車旅館”はモーテルであることも頷けます。ほんとに、日本と台湾とは同文同種だなと肌で感じた次第です。

東西横貫公路は東勢(台中市の東北26.3km)と東海岸の新城(花蓮市の北方20km)とを結ぶ大動脈で、全長192.8km。この公路は1956年7月に着工し、退役軍人の突貫工事によって多数の尊い犠牲者を出しながら1960年4月に開通したとのことです。蒋介石総統の胸中にも思いを

いたし万感胸に満ちました。

この公路は大甲溪に沿って中央山脈に入り、雪山(3884m)の南麓を梨山に至り、更に大禹嶺トンネルを抜けて、断崖絶壁の太魯閣峡谷を観ながら東海岸の終点・新城に着きます。

12月28日、梨山に立ち寄りました。果樹が好きで梨も栽培している私は梨山に特別の関心を持っていました。ガイドさんの説明では「二十世紀を作っている」とのことでしたが、私の経験では二十世紀は黒斑病に非常に罹り易く、1週間毎の防除が必要なのに、こんな山中でどうしているのだろうか、高冷地だから黒斑病が少ないのだろうか等々思いを巡らせていました。所が梨山に着いて実物を見てみると、ガイドさんが二十世紀と呼んでおられたのは、品種名ではなくて、単に梨の別名として使われていたようです。

そして、最も驚いたのは、石のゴロゴロした表土の少ないあの急な傾斜面で、耕作・施肥・棚作り・剪定・除草・防除・摘蕾・摘果・袋掛け・収穫等をどうされているのでしょうか。急傾斜地の土を耕せば、雨が降る度に肥えた表土や肥料は流失するでしょうし、また雑草を抜去すれば侵食を早める事になって終うでしょう。従って、土は耕さず、雑草は伸びた分だけ刈り取る栽培法にならざるを得ないように思われます。それにしても、あの急な傾斜面では、樹1本手入れするだけでも、動悸や息切れを伴うでしょうに、あれだけの広さの手入れには超人的な労力が必要で、まったく驚かざるを得ません。この山奥で、最初に栽培に取り組んだ退役軍人の人達は既に高齢で、こんな重労働に耐えられる筈もなく、その子息たちがこの悪条件下に汗を流しておられるのでしょうか。この人々に幸あれかしとご無事を心から祈って止みません。

この日、引き続いて太魯閣峡谷を觀せて貰いました。隆起と侵食の織りなす大自然の芸術品を堪能できて、ほんとに嬉しく思いました。こんなのが私の趣味に一番合致しますので、この一事だけでも台湾訪問の甲斐がありました。

12月29日、野柳岬を案内して貰いました。台北県野柳風景特定区管理所印行の簡介には「波浪侵食・岩石風化及海陸相對運動・地殼運動等地質作用的影響」との説明がなされていました。奇岩怪石の中でも女王頭は、神秘的とさえ言えるような優美さに心奪われました。

蕈状石を觀ているうちに、断面で長さ1～2cmの化石があちこちにある事に気付きました。侵食面だけながら、多数觀察しましたが、私には仲々立体像が掴めません。近くにおられた先

生に尋ねましたが、何の化石か解らないとのこと。帰国してから、上記の簡介を読んでいくうちに「海膽化石」であることが判明しました。そこで、大森昌衛編「古生物」のウニの項や平凡社発行地学事典のウニ類、歩帶、頂上系の項を読んで、凡その概念が掴めたようです。更に築地書館発行「日本化石集」(No. 13-75) N-30, (No. 13-76) N-31, (No. 15-86) N-35を調べてみて、マド(lunule)が細長く槍先状である点やマドの幅と長さの比などから、どうやら *Astriclypeus manni minoensis* に最も似ているように思えましたが、勿論同定できた訳ではありません。ご教示戴ければ有難いと思います。